

加古川平成ロータリークラブ

会 長 好 崎 泰 州
幹 事 原 田 悟
広報小委員長 畑 山 哲 人
2680 地区ガバナー 阪 上 栄 樹

例会日/毎水曜日 12:30~13:30・例会場/加古川プラザホテル
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
ホームページ <http://www.k-heisei-rc.jp/> Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp



**イマジン
ロータリー**

2022~2023 年度 RI 会長 ジェニファーE.ジョーンズ

No. 1497 August 24、2022

例会プログラム

第7回(8月 24日)

卓話

「新入会員自己紹介」

金川 和敬会員

例会当番 林

次週例会プログラム

(9月 7日)

DVD鑑賞

「米山記念奨学生紹介」

米山記念奨学委員会

次週例会当番 原田

前週例会報告

- ◇ ゲスト 第42回 RYLA セミナー受講生 林 昌樹氏
- ◇ ビジター
- ◇ 出席率 会員数 16名 出席数 10名 欠席数 4名 出席率 71.43%
出席計算会員数 14名 7月13日 補正出席率 92.86%
- ◇ 欠席者 4名 鈴木 藤田 宮宅 好崎
- ◇ メークアップ



★ 直前会長

★ 幹事報告

★ 卓話 林 昌樹氏

会長の時間

直前会長 榎 誠

みなさんこんにちは。本日は好崎会長が療養中に為、私が代理で会長の卓話をさせていただきます。来週から会長が復帰されるということです。

さて、加古川平成RCでは、本日もハイブリッド形式で例会を開催しておりますが、世間では新型コロナウイルス第7波に突入しております。私の子供も8月初めごろにコロナにかかってしまいました。子供一人以外は他の家族にはかからなかったことが幸いでした。第6波の時のオミクロン株BA.2からオミクロン株BA.5というものに変異しておりまして、症状としましては高齢者や持病を持った方以外は第6波と同じように比較的軽症だということです。しかし感染力はBA.5はBA.2の約1.3倍と言われていて、ワクチン接種を3回済ませた方でも感染すると言われていています。

今後、経済が止まるような緊急事態宣言は出さないとは思われますが、まだまだインフルエンザのような入院勧告のない5類に分類されるのは程遠いような気がします。国産で初の飲み薬治療薬も開発されていますが、もう承認が下りたのでしょうか、その薬は軽症者の方に使える飲み薬で、細胞内に侵入したウイルスの増殖を抑える効果があるとされています。その薬が早く一般の診察で市販されることを願いたいと思いますが、今のところ感染拡大はまだまだ収まらないと思いますので、私生活では3密を避け、対面で話をするときは、必ずマスクを着用し感染予防に努めていきましょう。以上で会長代理の時間を終わります。

本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡！

① 各RC例会変更のお知らせ

明石東RC 9月8日(木)→16:00～「会員家族親睦観月会」於；舞子ビラ あじさいホール
9月22日(木)→休会<定款第7条第1節dにより>

② 回覧します

- ・地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内(相生RC)
- ・熊本平成ロータリークラブより2022-23年度平成ロータリー姉妹クラブ合同例会交歓会のご案内
- ・中津平成ロータリークラブ週報

③ 次週31日(水)の例会は、例会取消〔定款第7条第1節(d)〕になります。お間違いのないようにお願いします。

SONG TODAY

加古川平成ロータリークラブ歌

作詞；平松弘光 作曲；平松愛理

大空を心に描き

昇る日は世界を結ぶ

人と人共に歌おう

とこしえ
永久の友情誓い

瀬戸内の加古の里から

呼びかける平成ロータリー

平成ロータリー



クラブ会報・雑誌
記録小委員会

2024-25 年度国際ロータリー会長にステファニー A. アーチック氏が選ばれる

マクマリー (McMurray) ・ロータリークラブ (米国ペンシルバニア州) 会員であるステファニー A. アーチック氏が、会長指名委員会により 2024-25 年度国際ロータリー会長に選ばれました。アーチック氏は女性として史上二人目の国際ロータリー会長となります。対抗候補者が出なければ、10 月 1 日に会長ノミネーとして宣言されます。

新型コロナウイルスの大流行、気候変動による災害、多くの地域での紛争など、世界が非常に大きな課題に直面する中で、これらの課題を乗り越えるためのビジョンとプランをロータリーが提供できると、アーチック氏は言います。

「危機的な課題を乗り越え、解決するためにロータリーのリーダーたちが取る措置は、組織を強くし、将来の出来事に対する組織の回復力を高めるもの」とアーチック氏。「このような重要なリーダーシップは、奉仕し、危機を解決するためにロータリアンが行動人として力を合わせるなら、それがライバル同士であっても、新しいレベルの協力を生み出します」

組織再編を優先することが極めて重要だと、アーチック氏は言います。

「ロータリーは 200 以上の国と地域で活動しています。ロータリアンが協力して奉仕や高潔性の推進、世界理解と親善、平和の推進に取り組む上で、地域差が及ぼす影響を理解し、それに対応することで、ロータリーはより効率的、効果的になる可能性を秘めています。そのことを認識することがとても大切です」とアーチック氏。



アーチック氏は、コンサルティングと研修を専門とする **Doctors at Work LLC** 社の共同経営者兼最高執行責任者です。ペンシルベニア州立インディアナ大学でリーダーシップ学の博士号を取得。地域社会で数々の団体の理事を務め、**Zonta International** や **Sons of the American Revolution** といった団体から表彰されています。

1991 年にロータリー入会。ベトナムに赴いて小学校建設を援助したほか、ドミニカ共和国では浄水フィルタの設置を援助。複数のスラブ系言語を学び、ウクライナの新ロータリアンへのメンタリングやポーランドでのロータリー財団補助金プロジェクトの調整役もこなしました。

ロータリーでは、理事、財団管理委員、RI 戦略計画委員長、財団 100 周年祝賀委員長を歴任。現在は選挙審査委員会と運営審査委員会の委員を務めています。ロータリー財団のメジャードナー、遺贈友の会会員。

2024-25 年度国際ロータリー会長指名委員会のメンバーは次の通り（敬称略）：Floyd A. Lancia（委員長、Anthony Wayne (Fort Wayne) ロータリークラブ、米国インディアナ州）、Guiller E. Tumangan（幹事、Makati West ロータリークラブ、フィリピン）、Jeffrey Cadorette（Media ロータリークラブ、米国ペンシルバニア州）、Bradford R. Howard（Oakland Uptown ロータリークラブ、米国カリフォルニア州）、Per Høyen（Aarup ロータリークラブ、デンマーク）、Peter Iblher（Nürnberg-Reichswald ロータリークラブ、ドイツ）、John M. Lawrence（Paddington ロータリークラブ、オーストラリア）、Jan Lucas Ket（Purmerend ロータリークラブ、オランダ）、北清治（浦和東ロータリークラブ、日本）、Sam Okudzeto（Accra ロータリークラブ、ガーナ）、Bharat S. Pandya（Borivli ロータリークラブ、インド）Kamal Sanghvi（Dhanbad ロータリークラブ、インド）、José Ubiracy Silva（Recife ロータリークラブ、ブラジル）、David D. Stovall（Hall County ロータリークラブ、米国ジョージア州）、Bryn Styles（Barrie-Huron ロータリークラブ、カナダ）、Giuseppe Viale（Genova ロータリークラブ、イタリア）、Chang-Gon Yim（Daegu West ロータリークラブ、韓国）